

## 式辞

丹波の山並みに春の息吹が感じられます今日の良き日に、兵庫県立氷上高等学校第五九回の卒業証書授与式を挙げていくことは、至上の喜びであります。

保護者の皆様、本日はお子様のご卒業まことにおめでとうございます。今日に至るまでの日々、ひとかたならぬ温情をもってお子様を育てたことを思いまことに感慨もひとしおのことと推察いたします。

ただいま卒業証書を授与いたしました卒業生九十五名の皆さん、ご卒業本当におめでとうございます。皆さんのご卒業をわれわれ教職員一同、心よりお祝い申し上げます。

さて、卒業生の皆さんは、本校で様々な事を学び、経験し、成長して本校を巣立っていきます。数多くの授業。体験実習。体育大会や桃陵祭といった行事や部活動に加え、農業クラブでの活動など、専門高校ならではの経験を通じて皆さんはたくましく成長できたと思います。

皆さんが一年生の冬から新型コロナウイルスなるものが世界中で猛威を振いはじめ、日本の学校でも三月からは臨時休業となり、それは皆さんが二年生の五月末まで続きました。六月からようやく学校が再開されましたが、新型コロナウイルスは収束することなく、修学旅行をはじめ多くの行事や体験活動などが中止を余儀なくされました。今でも残念でなりません。

しかし、皆さんはコロナ禍にあつて様々な制約があるなか工夫を凝らして努力を続けました。三年生となった今年度は農業クラブの全国大会がここ兵庫県で開催され、本校はプロジェクト発表の担当校として県予選も含め大会の運営に尽力しました。この大会運営当たっては、皆さん一人一人が心一つにして取り組み、大会を成功に導きました。本当によく頑張ったと思います。大会を終えて皆さんの表情は自信にあふれ、たくましく成長したと強く感じました。

そんな皆さんに私から言葉を贈ります。それは、ドイツの作家ヴィクトール・フランクルの言葉で、「生きる意味を誰かに尋ねてはならない。それをあなた自身が問われているのだ。」というものです。皆さんには未来があります。楽しいこともきっと沢山あることでしょう。でも、反対に「なぜこんなつらい思いをしてまで生きていかなければならないのか」と思う時があるかもしれません。そんな時は、この言葉を思い出してください。たった一度の人生です。「自分はこんな風に生きるのだ。」というように自分で答えを出して、行動することが大切です。正解などありません。他人と同じである必要もありません。幸せはなるもの

ではなく感じるものだと思うのです。つらい時や苦しい時があったら、今自分は生き方を問われているのだと思って行動してください。

年々歳々花相似たり、歳々年々人同じからず。花は年ごとに変わることなく咲くが、人の境遇は年ごとに変化していくという意味です。変化の激しい時代になったとありますが、大昔から人間の暮らしは変化し続けているのです。本校の校訓は「開拓者精神」です。大きな変化や未経験の出来事にぶつかったとき、本校での経験を思い出してください。きっと皆さんの助けになると思います。また、人間は一人では生きていけません。皆さんには苦楽を共にして学んだ仲間がいます。信頼できる人間関係ほど素晴らしい財産はありません。皆さんが、この「開拓者精神」と「仲間」を手にして、これからの社会でますます活躍してくれることを大いに期待しています。

最後になりましたが、卒業生の皆さんの前途に幸多からんことを祈念して式辞といたします。

令和四年二月二八日

兵庫県立氷上高等学校  
校長 正井 秀明